

ご協力ありがとうございます！

(平成29年3月23日～4月28日、敬称略)

新入会: 藤川浩之、美奈川理恵、關礼子、(株)ダイニチ、天野勝宜、天野康博、(株)コスモ技建
寄付金: 福岡早良ライオンズクラブ、特定非営利活動法人らいふステージ、飯倉タクシー(株)
寄付品: 中山琴葉、原田明、関孝成、(有)本石産業、立石光代、Bernarda Ikeda、福岡リパティライオンズクラブ、福岡県青年の翼

アメリナの私に言わせて

桜の時期が終わって、つつじの花がきれいに咲いてきます。今の季節は緑がきれいに見えます。きれいな花がたくさん咲いている時期でさわやかな気分になってきました。しかし、来たばかりの研修生達はまだまだ寒く感じると思っています。最近、どんたくに向けてパプアニューギニアの歌とバンドの演奏の練習が教室から聞こえてきます。毎年同じ曲でもメンバーが違うと面白いです。

国際協力ボランティア紹介

4月より、オイスカ活動を学び、将来オイスカ活動の担い手になってもらうべく「国際協力ボランティアコース(1年間)」を設け、活動全体を体験してもらいます。ガンバレ！

(右)中山琴葉です。大分県大分市出身。趣味はドライブと野球観戦です。オイスカでは研修生と一緒に様々な体験を通して学んで成長していきたいと思っています。

(真ん中)園田すみれです。福岡県築上郡出身。趣味はクラリネットをふくことです。オイスカで農業のことはもちろん、研修生の母国のことも学びたいと思っています。

(左)芦田奈々です。北海道旭川市出身。歌うことが好き。今まで机に向かって勉強ばかりしてきた私がなぜ農業をやり始めたか自分でも不思議です。ただ一つ言えることは、世の中のためになることがしたいという思い、今ここにいるということです。



皆様どうぞ
よろしくお願い
致します。

Cross Road ～情報交差点～

5月の予定

- 1日(月)桜島草刈り
- 4日(木)博多どんたく出演、出店
- 8日(月)交通安全講習
- 11日(木)スカブミ研修センター駐在代表中垣氏来福
- 13日(土)29年度海外研修生入所式(11時～)
中野良子学園長を囲む会(16時～)
- 20日(土)JR九州労組茶摘み
- 21日(日)脇山楽しく走ろう会

鬼木大明神の一句

老いも若きも人生の本舞台は常に
将来にあり！誰も世の中の期待に
応えねばならない！
高齢者よ！
少年に負けない大志を
抱け！！



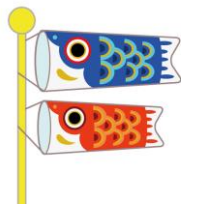
体験農園便り

今年の春は朝夕の冷え込みが長く続いたため、夏野菜の苗の植え付けが少し遅れた状況となりました。また、4月のいつ頃か忘れてましたが、ひどい暴風雨が吹き荒れて、畑に植えた200本近いスイカの苗が全滅してしまうという被害もありました。今年はお出だしからいろいろと問題がありましたが、体験農園の畑では、4月22日(土)にトマトやナス、ピーマンなど殆どの苗を植え終わり、今のところ毎日すくすくと育っている状況です。夏野菜の収穫は6月に入ってからぼちぼち始まりますが、今年も「ピーマン地獄がはじまった」と言われるぐらい、沢山の収穫ができるように管理をしていきたいと思っています。(豊田)



←苗の
植え付けの
様子

まるごと!西日本



発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

第 645 号
平成 29 年 5 月号付録

E-mail: oisca@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



29年度海外研修生入所

4月9日から12日にかけて、29年度海外研修生が入所しました。今年は桜の開花が遅かったため、珍しく満開の桜が研修生を歓迎しました。本年度は9か国から15人の研修生が集まりました。1年間多くのことを学ぶ為に、今は日本語の勉強を毎日頑張っています。今年も個性豊かな仲間たちで、賑やかな日々です。皆様、今年もご支援、ご協力よろしくお願い致します。(榮)



チョム

カムサ

ナダ

ステイ

イジャン

セルス

カンボジア出身

フィジー出身

インドネシア出身

マレーシア出身



OB
研修生

バット

トゥヤ

ミヤ

スイ

エティッタ

ナラ

モンゴル出身

ミャンマー出身

パプアニューギニア出身

家政
研修生



2
年
目

国際ボ
ランティア
研修生



インドネ
シア出身

インタン

シュガー

フィリピン出身

タン

ベトナム
出身

パプアニューギニア共和国大使送別会

この度パプアニューギニア共和国、ガブリエル・ジェ・ケイ・ドゥサバ駐日大使の送別会が福岡市内のホテルで行われ、当研修センターからは廣瀬所長はじめ研修生、PNG派遣予定のシニアボランティアの矢野さんと出席しました。大使は日本での5年間の勤務を3月末で終わられることになり特に福岡との関わりも深く、昨年は西日本研修センターにもご訪問され研修生に激励をいただきました。送別会には関係者40名程ご出席され和やかな雰囲気の中で送別会になりました。(満川)



センターでお花見

桜の満開を迎えた4月5日、新職員の歓迎会も兼ねて、センター職員と研修生で花見ランチをしました。センターには、センター建設と同時に植樹した桜の木があります。毎年、見事な花を咲かし、センターに春の訪れを感じさせてくれます。この日はあいにく曇り空ではありませんでしたが、美しい桜の木の下でゆっくり美味しいお昼ごはんを頂きました。静かできれいで、花見には絶好の穴場スポットですよ。ぜひ来年はセンターの桜を見にいらしてください。(榮)



表敬訪問

4月26日(木)、今年度新たに入所した14名の海外の研修生と3名の国際協力ボランティアと県・市・区へ表敬訪問に行きました。また10名の研修生の支援をして下さっている三菱UFGフィナンシャルグループの福岡支店へも挨拶に伺いました。また、来日して2週間余りで簡単な日本語での自己紹介でしたが、2回目の来日になる指導員研修(OB研修生)のナラよりこれから1年間の研修に対する思いと日本、福岡での生活への期待と不安な気持ちを伝えることが出来ました。今年もまた、いろいろな問題やハプニングもあると思いますが、多くの方のご支援、ご協力の下、彼らの研修が充実したものになることを期待します。今年もよろしくお祈り致します。(彦坂)



フィリピン共和国 パナイ島町長一行来日

桜満開を迎えた4月6日～9日にかけて、フィリピン共和国パナイ島の町長9名並びに婦人3名の12名で福岡に来日されました。リーダーはオイスカフィリピン総局長でフィリピンの全国町長会副会長のロハス氏が引率され、「アジアの玄関口、福岡を各町長に体験させたい」との思いで来られました。行程では、福岡市臨海ゴミ処理場、長崎原爆資料館、西日本研修センターでの宿泊と短い期間でしたが、九州とオイスカを満喫されました。福岡市では、貞苺副市長に公式表敬訪問をさせて頂き、来訪者一同、暖かい歓迎に「また是非福岡に来たい！」との声が上がっていました。(廣瀬)



西日本支部運営委員会

4月26日(木)、九州電力本社にて第12回西日本支部運営委員会が行われました。今回から運営委員長として田中徹九州電力(株)地域共生本部総務部長がご就任されました。議案として平成28年度事業報告並びに決算、平成29年度の事業計画案並びに予算案が挙げられました。また、今回は10月に行われます西日本研修センターの50周年記念行事の中間報告もあり、福岡市内に本社を置く大手企業9社で構成された各委員からの質疑もありました。どの議案も承認を受け、本格的に平成29年度の事業がスタートすると同時にセンター50周年に向けて引き続き運営委員会でご協力を頂けることを確認する会となりました。(安東)



ートすると同時にセンター50周年に向けて引き続き運営委員会でご協力を頂けることを確認する会となりました。(安東)

ソフトボール交流会

4月16日(日)、センターのグラウンドにて地元脇山から15名程の方が参加して、ソフトボール交流会が開催されました。今回のソフトボールの開催については、自治協議会重松会長から「フィジーOB研修生ルケが帰国する前に、是非もう一度思い出づくりをしてほしい」という思いから実現したもので、当日は天気にも恵まれて非常に盛り上がった交流試合となりました。新研修生にとっては初めてグローブやバットを握りましたが、今年の研修生はセンスのある者が多く、前回の研修生と違って珍プレーも少なく全員で楽しむ事ができました。ルケも5月いっぱい帰国しますが、脇山の皆さんから温かい応援の言葉も頂いて、最高の思い出をつくる事が出来ました。(豊田)



鳥がさえずる緑の回廊植樹会

3月25日、第12回鳥がさえずる緑の回廊植樹会が北九州市若松区の響灘埋立地の国道沿で行われ、どんぐりの苗木等を植樹しました。当日は地元企業・団体はじめ市民も参加する中、オイスカ北九州推進協議会からは三原幹事はじめ会員も参加し、植林地に穴を掘り苗木を植え支柱を立てる作業をしました。この活動は環境都市北九州の街づくりの一環として開催されており毎年推進協議会として参加をしております。(満川)



熊本復興支援ボランティア

4月27日(木)、今年度初めてとなる熊本県西原村へ草刈り、農業ボランティアに11名で参加してきました。今回の農業ボランティアは、午前は大麦若葉の畑の除草作業、午後は西原村でも奥の方に位置する農家さんの畑で、畝立てなどの作業に汗を流しました。草刈りボランティアは、中山間の棚田の草刈り作業を中心に行いましたが、最後に行った土砂で埋まった用水路の溝さらいがなかなかハードで、1時間ほどかけて必死に作業を行い、指定された作業をすべて終える事ができました。また、今回頂いた昼食は、前回草刈りをした農地の地主さんが、畑がきれいになってとても感謝しているから、せめて昼食でも作らせてほしいという事で、わざわざ準備を頂きました。どの料理もおいしく(特に漬物は最高)温かい心遣いにこちらが感謝の気持ちでいっぱいになりました。(豊田)



室町ケミカル新入社員研修

昨年に引き続き今年で2回目となる室町ケミカル株式会社の新入社員訓練を実施しました。今年は、7名の新入社員の方がオイスカでの3泊4日の訓練に参加しました。会社からは、事前に何も知らされていないようで海外の研修生との共同生活や、訓練の内容を知って戸惑いを隠せない様子でした。規律訓練、農業実習、歩行訓練(脇山―百道浜23km)、また夕食づくりや海外の研修生との交流と他では、体験できないことばかりで新しい気付きや出会いがあったことと思います。また、鶏の解体や農業体験、夕食づくりを通してこれまで当たり前食べていた食事に対するありがたさ、感謝の心が持てたようでした。歩行訓練では、日頃の運動不足もあってか途中かなりきつそうな様子でもありましたが、河川敷をゴミ拾いして歩いていると「ご苦労さま」「ありがとう」と声をかけられたりして、疲れも少し飛んでいきました。福岡タワーのゴール地点に着くと達成感と共に疲れでしばらく座り込んでいました。そして日本に来て間もない海外の研修生にとっても日本で初めてできた仲間でもあり、言葉がまだあまり通じない中で心を通わせることが出来ました。お互いにとっていい刺激になったはずですよ。お疲れ様でした。(彦坂)

